

Mizuho Daily Market Report

2024/8/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.29	147.33	+0.49	+0.65
EUR	1.1005	1.1012	+0.0019	+0.0090
AUD	0.6635	0.6598	▲0.0036	+0.0079
SGD	1.3166	1.3162	▲0.0014	▲0.0115
CNY	7.1460	7.1411	▲0.0139	▲0.0355
MYR	4.4211	4.4202	▲0.0270	▲0.0778
THB	34.85	34.94	▲0.22	▲0.73
IDR	15676	15678	▲155	▲357
PHP	56.95	56.96	▲0.02	▲0.59
INR	83.95	83.95	▲0.02	▲0.00
VND	25090	25042	▲83	▲124

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.835%	▲0.8 bp	▲10.8 bp
日本(10年)	0.822%	▲2.5 bp	▲7.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.180%	▲0.6 bp	▲8.8 bp
オーストラリア(5年)	3.571%	▲9.4 bp	▲15.2 bp
シンガポール(5年)	2.697%	▲5.5 bp	▲8.6 bp
中国(5年)	1.894%	▲1.9 bp	+6.2 bp
マレーシア(5年)	3.494%	▲0.1 bp	▲1.0 bp
タイ(5年)	2.329%	+0.0 bp	+4.5 bp
インドネシア(5年)	6.613%	▲2.4 bp	▲6.4 bp
フィリピン(5年)	5.993%	▲0.8 bp	▲2.5 bp
インド(5年)	6.774%	▲1.8 bp	▲2.7 bp
ベトナム(5年)	2.100%	+1.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,008.39	+0.6%	+3.2%
N225(日本)	36,442.43	+0.6%	+3.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,727.60	+0.7%	+1.3%
ASX(オーストラリア)	4,527.66	+0.6%	+1.5%
FTSE(シンガポール)	3,286.28	+0.9%	+1.1%
SSEC(中国)	2,850.65	▲0.6%	▲0.7%
SENSEX(インド)	79,105.88	+0.2%	▲0.5%
JKSE(インドネシア)	7,436.04	+1.1%	+3.1%
KLSE(マレーシア)	1,612.35	+0.2%	+1.3%
PSE(フィリピン)	6,704.96	+0.8%	+2.6%
SETI(タイ)	1,292.69	▲0.4%	+0.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,230.36	▲0.0%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	275.48	▲0.3%	+0.7%
金	2,447.85	▲0.7%	+2.7%
原油(WTI)	76.98	▲1.7%	+2.3%
銅	8,863.80	+0.2%	+2.6%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	145.60	—	148.80
EUR/USD	1.0870	—	1.1100
AUD/USD	0.6585	—	0.6780
USD/SGD	1.3110	—	1.3230
USD/CNY	7.1260	—	7.1890
USD/INR	4.4100	—	4.4730
USD/THB	34.80	—	35.35
USD/IDR	15600	—	15950
USD/PHP	56.60	—	57.00
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は146円台後半でオープン。岸田首相が9月の自民党総裁選に出馬しない意向を固めたとの報道を受け円高・株高で市場反応。その後ニュージーランド中銀(RBNZ)が0.25%の利下げを決定したことに加え、オア中銀総裁が0.5%の利下げも検討したとコメントしたこともありNZDが急落、NZDJPYが下落する中、ドル円も下落幅を拡大させ146円台前半を付けた。売り一巡後は147円台前半まで買い戻され海外に渡った。アジア通貨はまちまち。インドネシアルピアは前日海外時間からのドル売りの流れを引き継ぎ15600円後半まで対ドルで上昇した。またタイバーツはアジア時間対ドルで小幅に上昇し34.90近辺で推移していたが、セター首相解任との報道を受け反落。ドルバーツは一時35.10近辺までバーツ売りが進んだ。

欧州時間のドル円は米州時間に米CPIの発表を控え、ややドル売り優勢な展開。146円台後半まで下落して米州時間入り。米州時間に発表された米7月CPIの結果は予想通りの結果となるも、前年比では2.9%を記録し、2021以来3%台を割り込み、米ディスインフレーションの伸びが鈍化している結果となった。発表を受けドル円は147円台前半まで上昇するも、その後はドル売りが優勢となり、146円台前半まで下落する。米州時間午後には中東情勢を巡る不安が小幅後退した事を受け、低下していた米金利が上昇する展開を横目にドル円も147円台前半まで戻しクローズした。

【金利】

米国債利回りは長期低下した一方、短期では上昇。米州時間朝方に発表されたCPIの結果を受け、9月のFOMC会合において0.5%の利下げ織り込みが後退し短期の利回りは上昇した。

【予想】

本日のドル円は底堅い値動きを予想。注目の米CPIもほぼ予想通りの結果となり、9月FOMC会合において0.25%利下げするとの見方が優勢となるか。現在の金利市場では9月会合における0.5%の利下げを40%程度織り込んでいる状況であり、0.5%の利下げ織り込みが後退するにつれドル高に推移するものと予想。

【本日の予定】

(日本) 2Q GDP(速)
(日本) 6月 設備稼働率 / 鉱工業生産(確)
(アジア) 6月 フィリピン労働者送金
(アジア) 7月 インドネシア 貿易収支
(アジア) 7月 中国 不動産投資 / 調査失業率 / 新築住宅価格 / 鉱工業生産 / 小売売上高
(アジア) 7月 豪 雇用統計 / 8月 消費者インフレ期待
(アジア) フィリピン 金融政策会合
(アジア) 中国 MLF(1Y)
(欧州) 2Q 英 GDP(速) / 時間当り生産高(速)
(欧州) 6月 英 サービス業指数 / 貿易収支 / 月次GDP
(欧州) 6月 英 鉱工業生産 / 製造業生産 / 建設業生産高
(米国) 6月 企業在庫
(米国) 7月 小売売上高
(米国) 7月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 7月 鉱工業生産 / 製造業 / 設備稼働率
(米国) 8月 NAHB住宅市場指数
(米国) 8月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
(米国) 8月 フィラデルフィア連銀景況
(米国) ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演
(米国) ムサム・セトルイス連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。